

編集後記

この編集後記を書いているのは、5月号掲載用原稿締切（4月18日）の3日前、4月15日です。東日本大震災から約1ヶ月が過ぎました。このたびの東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

震災当日3月11日、宇都宮大学では機能光学特別講演会を開催していました。兵庫県立大学高度産業科学技術研究所の宮本修治先生に「New SUBARU 放射光施設とガンマ線ビームライン応用」なるタイトルで講演いただいた直後に、講演会場は大きくかつ長い時間揺れました。そのときの震度は6強でした。しかもその30分後にもう一つの大きな地震が……。幸いけが人が出ることはありませんでしたが、直後に停電し、さらに余震も多く、宮本先生も当日はご自宅に帰宅することはできませんでした。翌日には私鉄が本数制限はあったものの動いており、東京に移動することができたとのことでした。宇都宮市の東部には北から南に鬼

怒川が流れており、地層や地形の違いから川の東側では甚大な被害が出ていました。宇都宮大学は川の西側にあり、鬼怒川の東部ほどではありませんでしたが、それでも研究室はムチャクチャ。

この1ヶ月間、余震が本当に多くて何も手がつきませんでした。かつ計画停電もあって、研究は完全にストップしてしまいました。しかし、それでは研究内容や計画をゆっくり考えられるかという、なかなかそういうことにもなりません。やはり研究は気持ちに余裕がないとできないものだと実感した一ヶ月でした。新入生も入ってきて、大学も桜は満開。やっと明るくなってきましたし、そろそろ研究も再開しようかと（しかし、エレベータは使えないので、階段を昇り降りする毎日……足がピクピクしてしまいます……。研究の前にまずは運動不足解消からか?）。

（東口武史）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	本島 修	副会長	小川 雄一 藤山 寛	常務理事	中村 幸男（総務委員長）
理 事	疇地 宏（企画委員長）		板垣 正文（広告委員長）	伊藤 早苗	
	上杉 喜彦		斧 高一	加藤 敬	
	近藤 光昇（財務委員長）		坂本 慶司（広報委員長）	笹尾眞實子（プログラム委員長）	
	寺井 隆幸		永津 雅章	林 康明（出版委員長）	
	堀池 寛		山崎 耕造（編集委員長）		
監 事	飯尾 俊二		松尾 慶一		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 山崎耕造(名大)

エディター 岡子秀樹(九大), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 室賀健夫(核融合研)

編集委員 秋山毅志(核融合研), 市来龍大(大分大), 出射 浩(九大), 大原 渡(山口大), 神谷健作(原子力機構), 片山一成(九大), 假家 強(筑波大), 菊池崇志(長岡技科大), 熊谷 晃(網ジェイ・イー・ティー), 後藤拓也(核融合研), 小林進二(京大エネ理研), 近藤正聡(核融合研), 三瓶明希夫(京都工繊大), 四竈泰一(京大), 柴垣寛治(鈴鹿高専), 曾我之泰(金沢大), 高橋幸司(原子力機構), 田代真一(阪大接合研), 中村龍史(原子力機構), 原 正憲(富山大), 東口武史(宇都宮大), 藤岡慎介(阪大レーザー研), 前原常弘(愛媛大), 三浦英昭(核融合研), 三宅弘晃(東京都市大), 宮本光貴(島根大), 吉沼幹朗(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第87巻第5号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jpsf.or.jp URL: http://www.jpsf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2011年(平成23年)5月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。